

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | ベルク伊勢原白根店 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 伊勢原市白根字弾正町569番1ほか | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 600人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,380時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 物販店 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年4月 予定 | 評価の実施日 | 2018年7月20日 |
| 敷地面積 | 5,688 m ² | 作成者 | 株式会社INA新建築研究所 |
| 建築面積 | 3,658 m ² | 確認日 | 2018年7月23日 |
| 延床面積 | 3,543 m ² | 確認者 | 株式会社INA新建築研究所 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み

③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|---|
| 総合 | 敷地に余裕が無く屋上にも駐車場を設置する計画となった。利用者が分かりやすく認識しやすい動線計画とした。また、将来の改修も考慮し、耐震壁等を設けない構造としている。 | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| 売場の冷蔵ショーケースからの冷気による足元の冷え防止のため、冷凍設備機器の廃熱利用による床暖房を採用した。また床近くの冷気を一部バックヤードの荷置場・通路に導くことにより同様の効果を得られるようにした。ゾーンごとに空調の切り替えが出来るよう計画している。 | 快適な売場空間確保のため、十分な天井高さ、ゆとりある通路巾を確保した。またバリアフリー条例の遵守および福祉のまちづくり条例の整備基準に対し可能な限りの適合をおこなった。 | まちづくり条例協議での要望を満たすような限り緑化をおこなった。駐車場は平面駐車を適切に配置し交通障害が起きないように配慮した。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| 照明のほとんどをLED照明として計画。また給湯は深夜電力利用の貯湯式機器とし、一部水蓄熱式空調器を採用した。 | 簡素な構造・内外装により使用資材量を可能な限り絞り、省資源に努めた。 | 外環境は伊勢原市景観条例による周辺環境との調和等の要望に応えるものとした。また臭気を伴う排気はできる限り住宅から遠ざけ、騒音を発生する機器の防音のため屋上の腰壁を高くするなどに対応。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される